

答弁書第二号

内閣参質八七第二号

昭和五十四年一月三十日

内閣総理大臣 大平 正 芳

参議院議長 安 井 謙 殿

参議院議員秦豊君提出福田前内閣による成田空港の強行開港に係わる諸問題に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員秦豊君提出福田前内閣による成田空港の強行開港に係わる諸問題に關す

る質問に対する答弁書

一から四までについて

新東京国際空港の整備及び円滑な運営に關する政府の方針には何ら変更はなく、今後とも、運輸省及び新東京国際空港公団を中心に、關係省庁が一致協力して努力すべきものであると考
えている。

なお、政府においては、それぞれ担当する職務に應じて最も適した人材を任用していることは当然である。